平成30年度「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革公開フォーラム」

2019.1.27 @フクラシア東京ステーション

神奈川県産科婦人科医会の取り組み

ー産学官共同でのオータムフォーラムを開催してー

鈴木　幸雄

横浜市立大学　産婦人科

横浜市医療局　がん・疾病対策課（がん対策推進専門官）

神奈川県

OPEN YOKOHAMA

KTOG

KTOG

(神奈川県若手産婦人科医の会)の紹介

県内における横の連携を大切にし，種々の活動を通して
リクルート強化や離職防止などを目指す若手の組織.

神奈川県
産科婦人科医会

学術部

KTOG

「いいね！」を押してください！

県内における横の連携を大切にし，種々の活動を通して
リクルート強化や離職防止などを目指す若手の組織.

KTOG コアメンバー：　委員長，副委員長を含めて4-5名
　各ワーキンググループ（WG）の企画を元に全体の調整を行う

各WG：　WG毎に企画の立案と実行を行う

SNS・WG　SNSその他の告知媒体を活用して対外的な宣伝活動を行う。

箱根スプリングセミナー・WG　主に研修医を対象にしたセミナーの企画。

若手勉強会・WG　　若手医師主導の勉強会・セミナーの企画。
　　腹腔鏡，産科超音波，遺伝，オータムフォーラム等

ワークライフバランス・WG　　女性医師座談会やワークライフバランス向上のためのワークショップ開催などの企画を行う。

医会陪席・WG　　若手医師の各医会への参加を企画する。

第2回開催の経緯（昨年度の議論）

2017年秋，第1回オータムフォーラムを開催

今回のテーマは“ワークライフバランス”

あなたは当直明けに帰る？帰らない？　皆様のご意見を聴かせて下さい。

日時・場所　**2017年10月9日（月・祝）　10時～18時**

横浜市開港記念会館　6号室　（横浜市中区本町１－６）

① グループディスカッション、神奈川県産婦人科医会へ具体的な方策の提言をする。

今回のテーマ　**「当直明けには帰りますか？」**

② 通常の学会では聞けないテーマの講演

外部講師①：　日本産科婦人科学会 WLB 委員会　富樫嘉津恵先生

「日産婦 WLB 委員会の活動内容について」

外部講師②：　銀座コーチングスクール　坂本祐央子先生

「お互いの意見を尊重しながら最適な職場環境を構築する
コーチングスキルとは？　～病院編～ 」

第2回開催の経緯

2017年秋，第1回オータムフォーラムを開催

当直明けには帰りますか？

- 上司の理解
- 給与の問題
- 多様な専門性
- 多すぎるルーチンワーク
- 医師の評価方法の見直し
- 帰らない自由／帰れない先生への配慮
- チーム制の導入
- 人員不足
- 平日日中に研修や講習会を集約化

人事部を作る

ユニークな発想ではあるものの，実現可能なものとは言えなかった．
医師の働き方をより具体的に考えられる会を目指した．

医師の働き方改革の議論の流れを意識しながらのＡＦ開催

2017年6月29日　働き方改革関連法案可決
2017年8月2日　第1回　時間外労働の上限規制等について
9月21日　第2回　今後の進め方や論点の整理
10月23日　第3回　医師の勤務実態について
11月10日　第4回　医療機関の勤務環境改善の取り組みについて
12月22日　第5回　勤務医の健康確保について
2018年1月15日　第6回　タスクシフティングについて
2月16日　第7回　中間的論点整理と緊急的取組
7月9日　第8回　緊急的取組の実施状況，
日本医師会より「医師の働き方検討会議」の意見書について
タイムスタディ調査の結果（病院勤務医師の勤務実態調査）
9月3日　第9回　応召義務，宿日直，自己研鑽について
9月19日　第10回　医師の応召義務について
11月9日　第11回　勤務環境改善策について，睡眠からみた健康確保

第2回 オータムフォーラム（主催；KTOG，後援；神奈川県，横浜市医療局）

11月19日　第12回　自己研鑽，医療の特殊性など

- 地域医療への影響，経営への影響
- 時間外労働の上限設定具体値

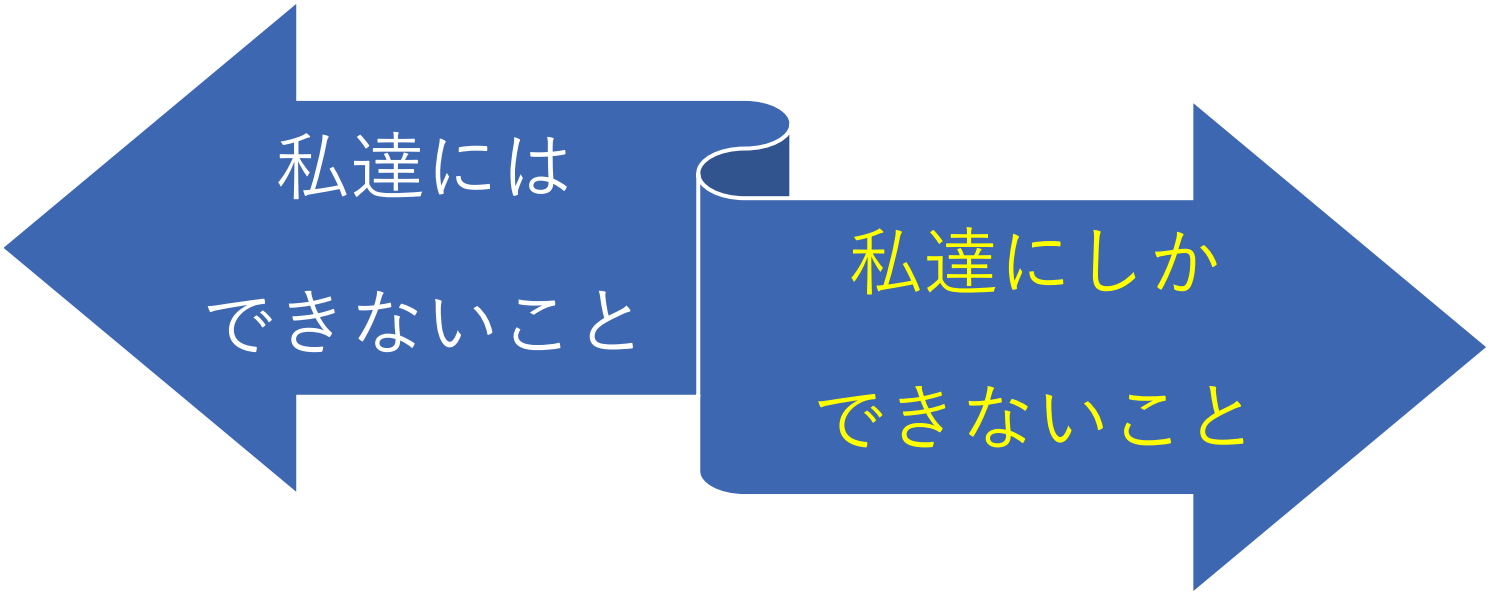
2019年3月　医師の働き方改革に関する骨子発表

私たちはどうしたら良いのか？？を考えました

すでに行政で議論が進んでいること

自分事として把握する！

基礎知識の講義
＋特別講演



現場レベルでないとできないこと

ワークショップ

みんなで見つけて**変えていく！**

必要な知識を得て，実現可能な議論が進むように

- ✔ 医療者・行政・民間の共同
  - 民間→働き方改革を既に実践している企業の知恵
    - **大手IT企業**より1名（2名の予定）
  - 行政→医師の働き方改革や医師確保計画などの施策を行う立場
    - **神奈川県健康医療局医療課**より2名
    - **横浜市医療局がん疾病対策課**より2名
- ✔ 基礎知識を整理（国の動き，地方自治体の立場）
- ✔ 働き方改革検討会構成員の裴英洙先生の講演
- ✔ 具体的に取り組める一歩を探すためのグループワーク

第2回 (2018) の内容

産婦人科医の働き方改革　～私たちが取り組むべき一歩を探す～

開催日時：　2018 年 11 月 18 日（日）　9:30 ～18:00（終了予定）

開催場所：　神奈川県総合医療会館　2F 会議室 A （横浜市中区富士見町 3-1）

スケジュール概要：

10:00　開会 講義：働き方改革についての基礎知識

11:00　ワークショップ 1：労務管理の問題点と改善策の提案

12:45　特別講演（ランチョンセミナー）

14:00　ワークショップ 2：実現可能な労務管理改善策の立案

約4時間

17:15　閉会（閉会後記念撮影を予定しております）

18:30　懇親会

特別講演　講師：　裴　英洙（はい えいしゅ）先生

ハイズ株式会社　代表取締役社長、横浜市立大学附属病院客員教授

厚生労働省「医師の働き方改革に関する検討会」構成員

演 題 名：「 医師の働き方改革に関する政策動向について 」

専門医共通講習【その他の共通講習】1 単位が付与されます。

（専門医としての人間性並びに社会性向上に資する講習会）

基礎知識として整理したこと（用語の確認，考え方の確認）

1．働き方改革推進法と動向

2．「医師の働き方改革に関する検討会」を中心とした議論の流れ

- 緊急的な取組とその結果

3．医師の働き方を考える上での論点・視点の整理

① 医師業務の特殊性
- 応召義務
- 自己研鑽や教育

② 医療提供の姿
- タスクシフティング（他職種への業務移管）
- タスクシェアリング（チーム制）
- 限られた医療資源に対する国民の理解促進

③ 勤務環境改善
- 労働時間管理や時間外労働の考え方
- 医師の健康確保（産業保健，睡眠の確保）
- 宿日直（中間業務について）
- 女性医師支援，男性医師支援（子育て・介護等）

4．医師確保計画と医師偏在解消

- 医療法，医師法の改正

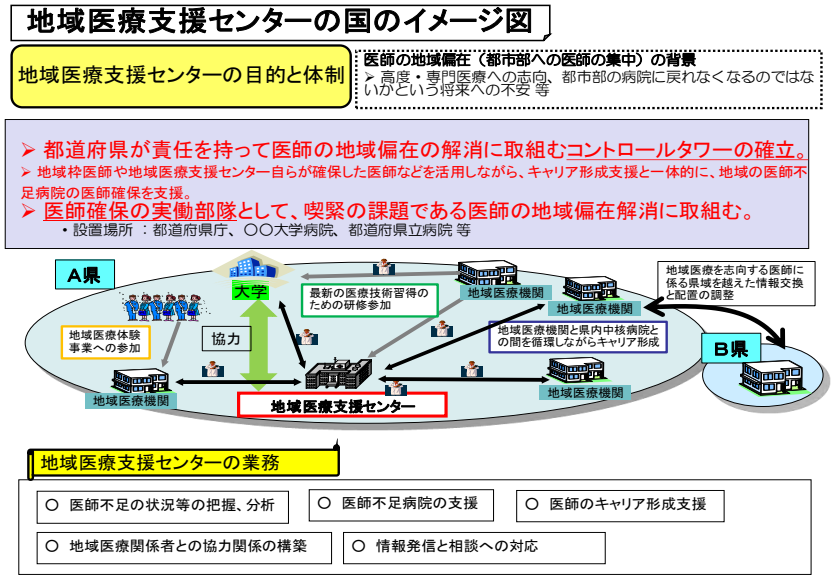
5．医学部地域枠の問題について

神奈川県・横浜市より

神奈川県

健康医療局　医療課　地域医療・医師確保対策グループ

1．神奈川県の医療資源
2．神奈川県の医療計画
3．医師の状況
4．神奈川県の医師確保対策



横浜市

医療局　がん・疾病対策課

横浜市の産科対策事業について
・具体的施策の説明
・今後見据える方向性

【出産にまつわる環境の変化】
・「産科医療崩壊」以後、現在は実際どうか？
・避けられない少子化の波
・産科医師は医学生の進路として魅力的？
・行政の予算確保は年々シビアに…

中長期的な流れを踏まえて、産科医療環境の確保するには？？

【市民が安心して出産できる環境を確保する】
という目的に立ち返る！
・出産に携わる医療従事者あってこそ。産科医師や助産師、その他の人材確保が必須
・よい人材を集めるためには、職場環境の充実、働きやすさが必要